

2018年3月期 第3四半期 決算補足資料

1. 決算概観（連結）
2. 業績のポイント
3. 主要製品の状況
4. 開発品一覧

【参考資料】

5. セグメント情報
6. 業績と予想（連結）

2018年2月5日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2018年3月期 第3四半期 決算概観（連結）

（単位：百万円）

	15年3月期 第3四半期	16年3月期 第3四半期	17年3月期 第3四半期	18年3月期 第3四半期	前年比 (%)	18年3月期 (予想)	前年比 (%)
売上高	83,602	89,469	86,836	82,923	-4.5	111,300	-3.5
営業利益	10,691	14,666	7,313	7,805	+6.7	10,500	+0.8
経常利益	11,181	14,946	7,716	8,246	+6.9	10,900	+0.2
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	9,571	10,831	4,723	6,119	+29.6	7,800	+6.8

18年3月期 第3四半期 連結業績（実績）

【売上高】 新医薬品（国内）は主力製品「フルティフォーム」、新製品「デザレックス」は順調に伸長したものの、特許満了による「キプレス」の売上減少を主因として減収となりました。新医薬品（海外）は導出品に関わる一時金収入の計上、後発医薬品はモンテルカスト（キプレス）のオーソライズド・ジェネリックの販売拡大により増収となりましたが、全体では829億23百万円（前年比4.5%減）と減収となりました。

【利益】 新医薬品（海外）において導出品に関わる一時金収入の増加はあったものの、新医薬品（国内）の売上減少及び、棚卸資産の除却損等の増加により売上総利益は前年同期に対して20億64百万円減少しました。他方、販売費及び一般管理費はコスト削減に取り組んだ結果、前年同期に対して25億57百万円減少（内、研究開発費8億02百万円減）し、営業利益は78億05百万円（前年同期比6.7%増）と増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は61億19百万円（前年同期比29.6%増）となりました。

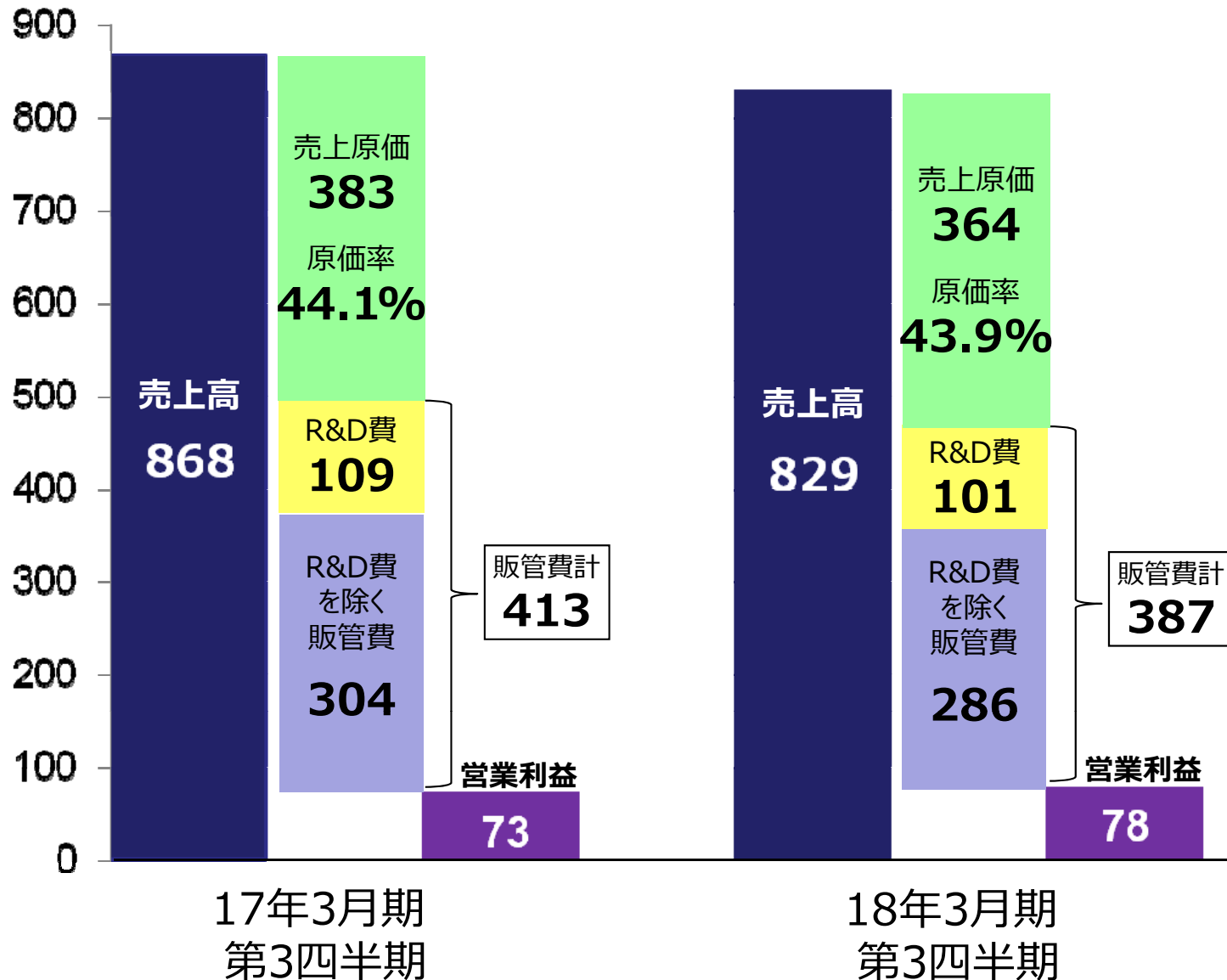
18年3月期 連結業績（予想）

現時点におきまして、2017年11月6日に公表しました（通期）連結業績予想を変更しておりません。

（通期の業績予想に対する進捗度 売上高：74.5% 営業利益：74.3%）

2018年3月期 第3四半期 業績のポイント

(単位：億円)



【ポイント】

- 売上高は前年比39億円減少
 - ・新医薬品（国内）の売上減少
 - ・新医薬品（海外）の売上増加
 - ・後発医薬品の売上増加
- 売上原価率は0.2%低下
- 売上総利益は前年比21億円減少
- 販管費は前年比26億円減少
 - ・R&D費は8億円減少
 - ・R&D費を除く販管費は18億円減少
- 営業利益は前年比5億円増加

2018年3月期 第3四半期 業績の状況

(単位：億円)

(対前年)

	17年3月期 第3四半期	18年3月期 第3四半期	前年差額
売上高	868	829	-39
医療用医薬品事業	825	785	-40
◆新医薬品	644	579	-65
○国内	641	548	-93
○海外	3	31	+28
◆後発医薬品	181	206	+25
ヘルスケア事業	43	44	+1

営業利益	73	78	+5
経常利益	77	82	+5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	47	61	+14

■売上高	829億円	(-39)	
◆医療用医薬品事業	785億円	(-40)	
●国内新医薬品	548億円	(-93)	
	17.3 (3Q)	18.3 (3Q)	
・フルティフォーム	76	⇒ 89	(+13)
・ウリトス	58	⇒ 56	(-2)
・デザレックス	7	⇒ 21	(+14)
・キプレス	260	⇒ 142	(-118)
・ペンタサ	120	⇒ 122	(+2)
・ムコダイン	75	⇒ 66	(-9)
●海外新医薬品	31億円	(+28)	
	導出品の開発進展に伴う一時金収入の計上		
●後発医薬品	206億円	(+25)	
	モンテルカストAGが拡大、他社向け売上は減少		
◆ヘルスケア事業	44億円	(+1)	
■営業利益	78億円	(+5)	
◆営業利益率は9.4%と前年比1.0ポイント上昇			
●原価率：前年比0.2ポイント低下 (44.1%⇒43.9%)			
【低下要因】	導出品の開発進展に伴う一時金収入の計上 主力品(フルティフォーム、ペンタサ、デザレックス)の売上増加		
【上昇要因】	棚卸資産の除却損等の増加		
●研究開発費率：前年比0.4ポイント低下 (12.5%⇒12.1%)			
	* 8億円減少 (109億円⇒101億円) 前年にKRP-AM1977X、KRP-114Vの費用発生		
●販管費率(R&D費を除く)：前年比0.5ポイント低下 (35.0%⇒34.5%)			
	* 18億円減少 (304億円⇒286億円) 主に人件費、一般経費の減少		
■親会社株主に帰属する 四半期純利益	61億円	(+14)	

* 特別利益：ドクタープログラム(株)の株式譲渡に伴う利益 約6億円

* 特別損失：ガチフロキサシン点眼液に関する集団訴訟の和解関連費用 約4億円

2018年3月期 第3四半期 主要製品の状況

(単位：億円)

		17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期
国内 新医薬品	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	45	54
	ウリス (自社販売) (過活動膀胱治療剤)	38	36
	デザレックス (アレルギー性疾患治療剤)	—	9
	キプレス (成人製剤) (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	115	39
	キプレス (小児製剤) (気管支喘息治療剤)	63	51
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・がん病治療剤)	79	80
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	44	39

17年3月期 第3四半期	18年3月期 第3四半期	前年差額	前年比 (%)
76	89	+13	+18.3
58	56	-2	-3.3
7	21	+14	+209.3
150	61	-89	-59.4
110	81	-29	-26.3
120	122	+2	+1.7
75	66	-9	-12.2

17年3月期	18年3月期 (予想)
101	120
75	73
10	35
177	91
149	107
155	156
99	84

後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	18	50
-----------	-------------------------------------	----	----

※モンテルカスト (キプレス) のオーソライズド・ジェネリック (AG)

53	82	+29	+55.5
----	----	-----	-------

82	107
----	-----

一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	11	11
------------	----------------------	----	----

17	17	0	+2.7
----	----	---	------

22	22
----	----

開発品一覧① (2018年2月5日現在)

PhⅢ ~ 承認

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (17年9月)	【米国、欧州、他】 米国メルク社：PhⅡ 終了	KRP-114V	過活動膀胱	米国 メルク社	<ul style="list-style-type: none"> 従来の過活動膀胱治療薬と比較して、副作用が少なく、服薬コンプライアンスが高まることが期待される β3作動薬として、薬物相互作用が少ない 本剤が分類されるβ3作動薬は、過活動膀胱治療におけるファーストラインとなる可能性がある 	米国メルク社とライセンス契約 (14年7月) キッセイ薬品工業(株)と共同 開発・共同販売に関する 契約を締結(16年3月) 米国メルク社とアジア地域に おけるライセンス契約 (17年4月)
申請 (17年4月)		KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	75mg 1日1回投与で優れた臨床効果を確認(市中呼吸器感染症・耳鼻咽喉感染症)	KRP-AM1977Xについては、追加の非臨床試験を実施中
PhⅢ (16年3月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸器、耳鼻科感染症の起炎菌、及びβラクタム系・マクロライド系抗菌薬耐性株に対して強力な抗菌活性を示す 血漿比10倍を超える肺組織への良好な移行性 高い安全性が期待される 同系統の抗菌剤で懸念される、血糖値異常、光線過敏症、関節障害、消化器症状などを引き起こす可能性は低い 	
PhⅢ (17年3月)		KRP-116D	間質性膀胱炎治療剤	—	医療上の必要性の高い未承認薬・適用外薬に該当する「ジメチルスルホキシド」	
PhⅢ (17年6月)		KRP-108P	気管支喘息	英国 バクテリア社	喘息治療配合剤「フルティフォーム」の小児適応拡大	

POCプロジェクト (PhⅠ ~ PhⅡ)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
PhⅠ/Ⅱ (15年7月)	【米国】桃太郎源 (株)：PhⅠ/Ⅱ前立 腺がん(14年5月)	Ad-SGE-REIC	悪性胸膜中皮腫	岡山大学	岡山大学で発見された新規がん抑制遺伝子REICを使用する遺伝子治療薬。がん細胞選択的アポトーシスと抗がん免疫の活性化を誘導することが期待される	産学共同実用化開発事業[NexTEP]への採択(14年6月)

開発品一覧②（2018年2月5日現在）

導出品の状況

※前回（2018年3月期 第2四半期 11月6日発表）からの変更点

開発段階／海外	製品名・ 開発コード	導出先	薬効	起源	特徴	備考
※Ph I	FPR2作動薬 プログラム	米国 プリストル・マイヤーズスクイブ社	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を抑制し抗炎症作用を示す	プリストル・マイヤーズスクイブ社とライセンス契約（15年12月）

※KRP-203は、導出先のノバルティスが開発戦略上の視点から開発中止を決定したため、開発品一覧から削除いたしました

参考資料

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位：億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	829	-39	78	+5
医療用医薬品事業計	785	-40	73	+2
◆新医薬品	579	-65		
○国内	548	-93		
○海外	31	+28		
◆後発医薬品	206	+25		
ヘルスケア事業計	44	+1	2	+2
調整額	-	-	3	+1

2018年3月期 第3四半期 業績と予想 (連結)

(単位：百万円)

	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期
売上高	54,628	50,758
医療用医薬品事業	51,936	47,977
◆新医薬品	41,615	34,972
○国内	41,272	34,449
○海外	343	523
◆後発医薬品	10,321	13,005
ヘルスケア事業	2,691	2,781
営業利益	3,663	1,443
経常利益	3,921	1,693
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,684	1,240

17年3月期 第3四半期	18年3月期 第3四半期	前年差額	前年比 (%)
86,836	82,923	-3,913	-4.5
82,508	78,484	-4,024	-4.9
64,407	57,902	-6,505	-10.1
64,116	54,798	-9,318	-14.5
290	3,104	+2,814	+970.3
18,101	20,582	+2,481	+13.7
4,327	4,438	+111	+2.6
7,313	7,805	+492	+6.7
7,716	8,246	+530	+6.9
4,723	6,119	+1,396	+29.6

17年3月期	18年3月期 (予想)
115,373	111,300
109,566	105,300
84,542	77,200
83,777	74,200
764	3,000
25,024	28,000
5,807	5,900
10,413	10,500
10,874	10,900
7,305	7,800